

令和元年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第8号（水稻）

令和元年8月30日発表
広島県西部農業技術指導所
対象期間 令和元年8月下旬～9月上旬



1		予報内容（9月上旬まで）		
病害虫名		現況	予報	防除上の注意事項
穂いもち	早生	少 (発生なし)	-	◇中国地方1か月予報では、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並みか少ない見込みで、発生に好適な気象条件となっている。
	中生	少 (発生なし)	やや少	◇出穂前後の降雨により、穂いもちの発生は助長される。穂ばらみ期、穂そろい期の基幹防除を徹底する。 ◇これまでに葉いもちが多発しているほ場や、既に穂いもちが出ているほ場では、降雨が続く場合、穂そろい期防除の約10日後（傾穂期）に追加防除を行う。
トビイロウンカ	中生	やや多	多	8月9日発表の注意報第1号を参照する。 8月30日発表の技術情報第4号を参照する。
斑点米カメムシ類 (カスミカメムシ類、その他加害種)※		-	多	◇8月中旬以降、予察灯（呉市安浦町）で斑点米カメムシ類の誘殺数が増加しているのに注意する。 ◇2等米への格下げ（斑点米混入率0.1%以上）が発生する目安は、捕虫網による乳熟期のすくい取り調査（20回振り）でカスミカメムシ類4頭以上、その他の加害種で2頭以上である。 ※カスミカメムシ類はアカスジカスミカメなどの小型のカメムシ類、その他加害種はホソハリカメムシなどの大型のカメムシ類。

○病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、広島県ホームページで閲覧できます。

広島県 植物防疫

検索

または



○お問合せ先：広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
(東広島市八本松町原 6869 tel : 082-420-9662)

(1) 穂いもち（26地点調査）

◆現況調査結果（早生：少，中生：少）

	県内全域					
	早生			中生(葉いもち※)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
発生地点率	0	30.2	0	16.7	61.7	50.0
平均発生程度	1.00	1.04	1.00	1.01	1.12	1.08

※中生種の葉いもちは過去5年平均との比較

(2) トビイロウンカ（26地点調査）

◆現況調査結果（やや多）

	本年	平年	前年
発生地点率	38.5	14.6	8.0
平均発生程度	1.17	1.05	1.01

「予報」「現況」は、「多～少」の5階級に区分して発表しています。区分の方法は、原則として、過去10年の数値を発生が多かった順に並べて、相対比較しています。

「多」： 1番目（最多年）と同程度以上

「やや多」： 2～3番目と同程度

「平年並」： 4～7番目と同程度

「やや少」： 8～9番目と同程度

「少」： 10番目（最少年）と同程度以下

区分	多	やや多			並				やや少		少
順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

3

その他の病害虫の発生状況（現況調査：8月20～21日，26地点調査）

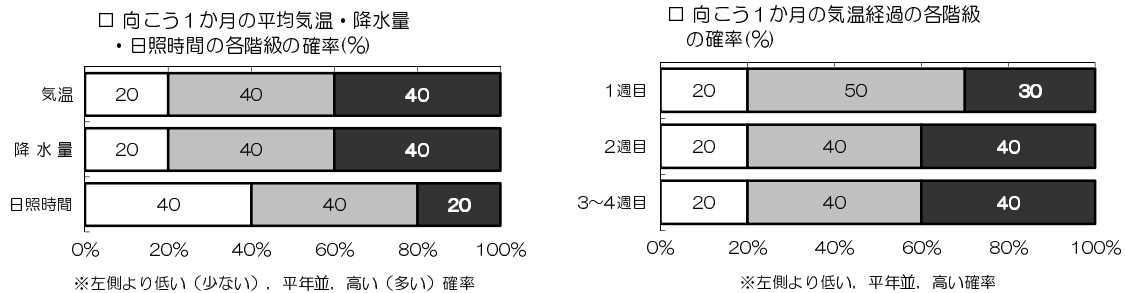
病害虫名	現況
紋枯病	中生： 平年並
セジロウンカ	やや多
コブノメイガ	多

4

気象情報

中国地方1か月予報（広島地方気象台8月29日発表，8月31日から9月30日までの天候見通し）

向こう1か月を平均した気温は，平年並みか高い見込みです。降水量は，平年並または多く，日照時間は平年並みか少ない見込みです。



6月1日から8月31日まで，**農薬危害防止運動**実施中！

農薬を使う際は，容器のラベルをよく読んで，
使用方法や注意事項を守り，農薬による危害と事故を防ぎましょう。

